



2019年度 環境経営レポート

(2019年4月1日～2020年3月31日)

発行日: 2020年 6月30日



株式会社フィデア情報総研

〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目4番23号
TEL 018-883-0200 FAX 018-883-0209

2020年3月末実績 最新版

目 次

1. 環境方針	1
2. 組織の概要	2
3. 取組期間と登録範囲	3
4. 環境目標	4
4. 1 環境目標項目の選定	
4. 2 重要項目の環境負荷の基準値	
5. 主な環境活動計画	4
5. 1 二酸化炭素排出量の削減	
6. 環境活動の実績	5
6. 1 二酸化炭素排出量の結果	
6. 2 重要項目の活動実績	
6. 3 その他項目実績表	
6. 4 2020年度の取組内容	
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
8. 1 環境経営システムの有効性の評価	
8. 2 環境経営システム変更の必要性	
8. 3 2020年度以降の取組の方向性	

1. 環境方針

《基本理念》

株式会社フィデア情報総研は、ますます深刻化する地球温暖化など、地球規模の環境問題への対応が人類共通の重要課題であるとの認識に立ち、コンピュータシステム開発/機器販売/受託に係る事業活動において環境負荷の低減を図るため、「美しく緑豊かな郷土」の自然環境を次世代に引き継いでいくことができるよう、全社一丸となって環境保全活動に取り組んでまいります。

私たちは、基本理念の基、次のことに重点的に取り組みます。

《活動指針》

1. 地球温暖化防止のために、低炭素社会への対応に努めます。
二酸化炭素排出削減を推進するため、以下の項目に重点的に取り組みます。
 - ①電力消費 ・・・電力消費を削減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
 - ②ガソリン消費 ・・・エコ運転を推進し、二酸化炭素排出量抑制に努めます。
2. 限りある資源の有効活用のため、廃棄物の分別管理を実施し、廃棄物の排出削減とリサイクル活動を推進します。
 - ①事務所等の廃棄物の分別・回収を徹底し、資源の有効利用を推進します。
3. 事務所等において水使用量の適正な利用・削減に努めます。
4. 環境に配慮して情報機器・消耗品等の販売を推進します。
5. 地域での環境保全活動への積極的な参加など、地域貢献に努めます。

私たちは、環境関連法規制を遵守し、環境活動レポートの公表をもって地域との環境コミュニケーションに努めると共に、全従業員が環境方針を理解して行動できるよう、事業所内での周知活動を行います。

以上をもって環境経営システムの適切な維持管理に努め、継続的な改善を図ります。

制定日：2010年 7月 1日

改定日：2020年 4月 1日

認証・登録日：2010年12月27日

株式会社フィデア情報総研
代表取締役社長 伊藤 兵一

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

- 株式会社フィデア情報総研
- 代表取締役社長 伊藤 兵一

(2) 所在地

- 本社 〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号
- 由利本荘営業所 〒015-0013 由利本荘市石脇字田尻野 2-5
- 山形支社 〒990-0043 山形市本町一丁目4番21号 荘銀ビル8F
- 秋田事業所 〒010-0001 秋田市中通三丁目1番41号 北都銀行本店3F

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 三河 雅 則（経営企画部長）
- 環境推進事務局長 近 藤 定 義（総務部理事）
事務局 長谷川 均（経営企画部部長・品質管理室長）
事務局 尾 久 純 子（総務部課長補佐）
T E L : 018-883-0200
F A X : 018-883-0209
E-mail : info@fir.co.jp

(4) 事業活動内容

- コンピュータに関するコンサルティング
- ソフトウェア開発/コンピュータ機器等の販売
- アウトソーシングサービス
- ネットワーク構築システム
- 調査研究(産業/経済の定例調査、地域課題の研究調査、受託調査、自主研究調査)
- 企業経営コンサルティング、HP コンサルティング、経営相談

(5) 会社資格

- エコアクション 21 認定〔006422〕
- ISO9001 認証〔JQA-QMA10858〕
- ISO/IEC27001 認証〔JQA-IMO306〕
(ISMS：情報セキュリティマネジメントシステム)
- プライバシーマーク付与認定〔23820019〕

(6) 事業規模

活動規模	単 位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	百万円	1,774	1,763	1,703	1,838	2,124
従業員	人	92	93	84	98	94
床面積	m ²	1,360.12	1,360.12	1,360.12	1,360.12	1,360.12
整備台数	台	19	19	19	19	20

注) 売上金額は、当社会計年度（当年4月～翌年3月まで）による。

3. 取組期間と登録範囲

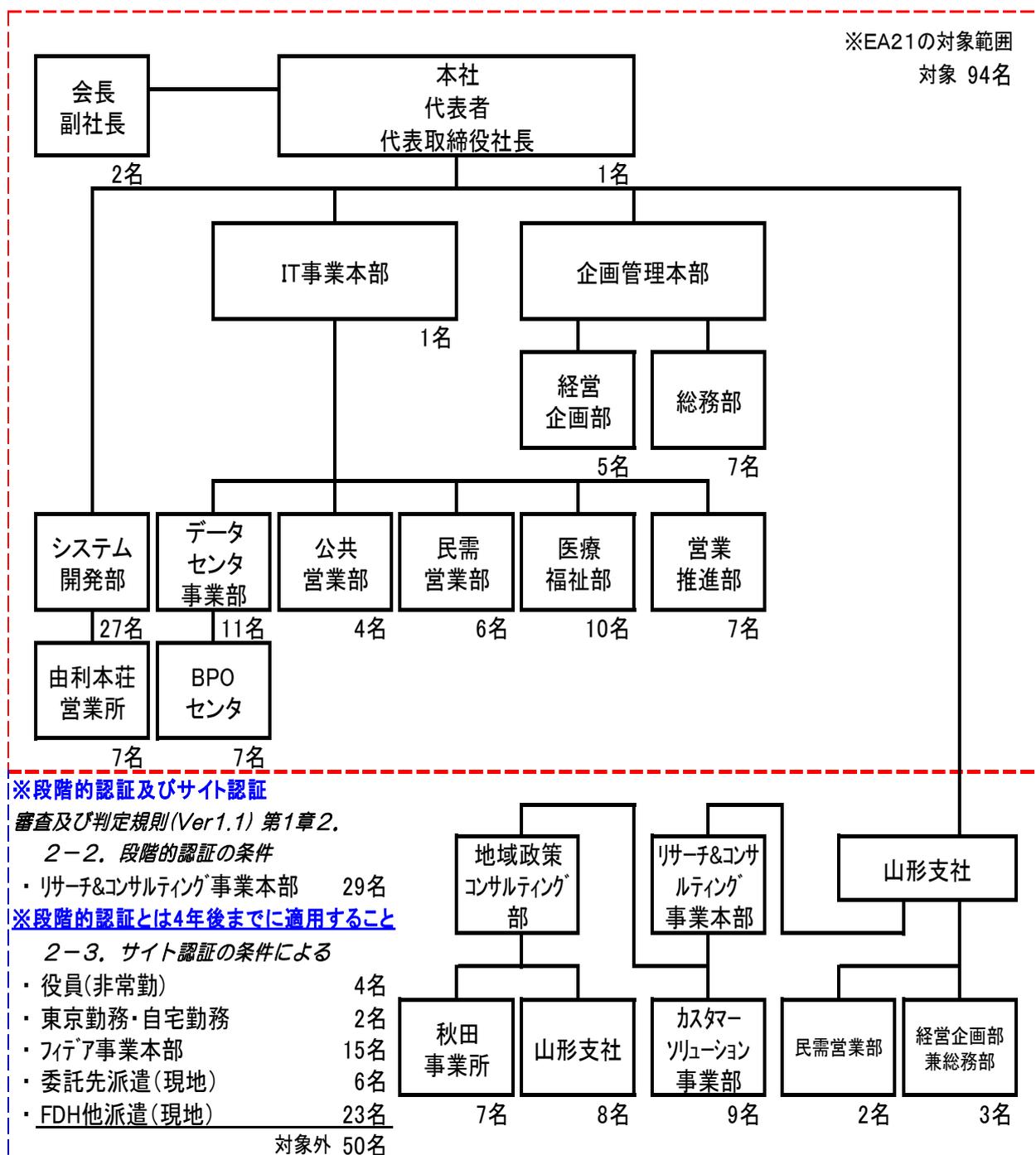
(1) 環境活動レポートの取組期間

■ 2019年度の環境活動（2019年4月1日～2020年3月31日）

(2) 認証・登録範囲

■ 弊社の組織体制および登録範囲

（2020年3月31日現在）



4. 環境目標

4. 1 環境目標項目の選定

当社の二酸化炭素排出量の約99%を占める「電力使用量」と「ガソリン燃費」の2つを重点活動項目と捉え目標を設定しています。

他の活動項目については、前年度実績との増減管理とし、評価に顕著な変化があった場合新たな取組を検討することとしています。

- 1) 二酸化炭素排出量
- 2) 廃棄物排出量
- 3) 水道使用量
- 4) 地域保全活動の推進

4. 2 重要項目の環境負荷の基準値（2018年度実績）

重要項目	使用量基準	CO ₂ 排出量基準	CO ₂ 排出換算係数
電力使用量	240,102(KWh)	125,573 (k g - CO ₂)	0.5230
ガソリン使用量	23,634(L)	54,870 (k g - CO ₂)	2.32166

5. 主な環境活動計画

5. 1 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減策

■空調機器

- ・空調設備更新
- ・デマンド監視装置による管理
- ・暑さ指数(WBGT)測定結果による室内温度・湿度監視(夏期)
- ・スーパー・クールビズ/ウォームビズの実施
- ・室内温度の管理(冷房時 28℃、暖房時 20℃)
- ・窓開閉/ブラインド/扇風機利用の指導(夏期)
- ・週明け日空調機器電源投入スケジュール制御(冬期)
- ・カイロ等の配布(冬期)
- ・部分暖房用ストーブ配置(冬期)
- ・温度監視隊による室内温度管理
- ・温湿度SDデータレコーダーによる室内温度監視

■電灯照明

- ・社内周辺通路の照明をソーラーパネル付感知照明設置
- ・定時退社日制定(毎週水曜日)
- ・全館LED化実施(緊急避難電灯を除く)
- ・未使用場所の消灯実施

■情報機器

- ・PCの節電設定/外出時シャットダウン

■その他

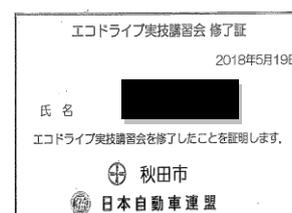
- ・エレベータ利用の抑制
- ・小型エアコンの定期点検



屋上空調設備



ソーラーパネル付感知証明設備



エコドライブ®実技講習修了証

(2) ガソリン使用量の削減策

- 電動自転車を2台配備
- エコドライブ実技講習会へ参加
- エコドライブ10のすすめ遵守を周知する
- 走行距離/給油量を公表して燃費向上に努める



電動自転車

(3) 健康/運転安全対策

- 全車両にドライブレコーダーを設置(毎月画像チェック)
- 全車両に防災グッズ配備
- 受付フロアーにAED設置/AED使用講習会開催



社用車内防災グッズ



ドライブレコーダー



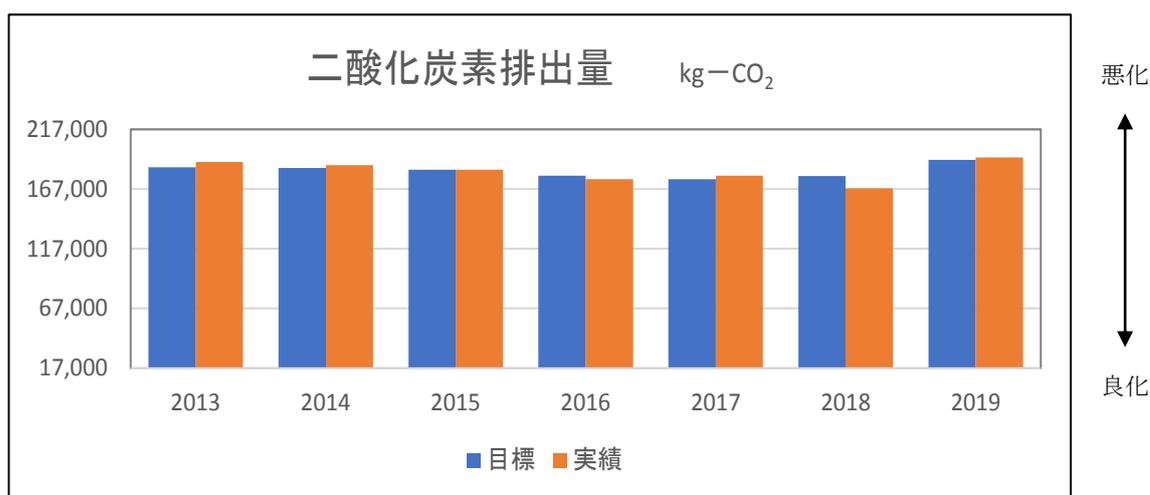
AED使用講習

6. 環境活動の実績

2019年度[2019.4~2020.3]における環境目標の達成状況は次のとおりです。

6. 1 二酸化炭素排出量の結果

電力使用量・ガソリン使用量の主要項目の二酸化炭素排出量は、目標 191,343 kg-CO₂ に対し実績 193,444.73 kg-CO₂ と 2,101.73 kg-CO₂ 増加しており、二酸化炭素排出目標は未達成となりました。



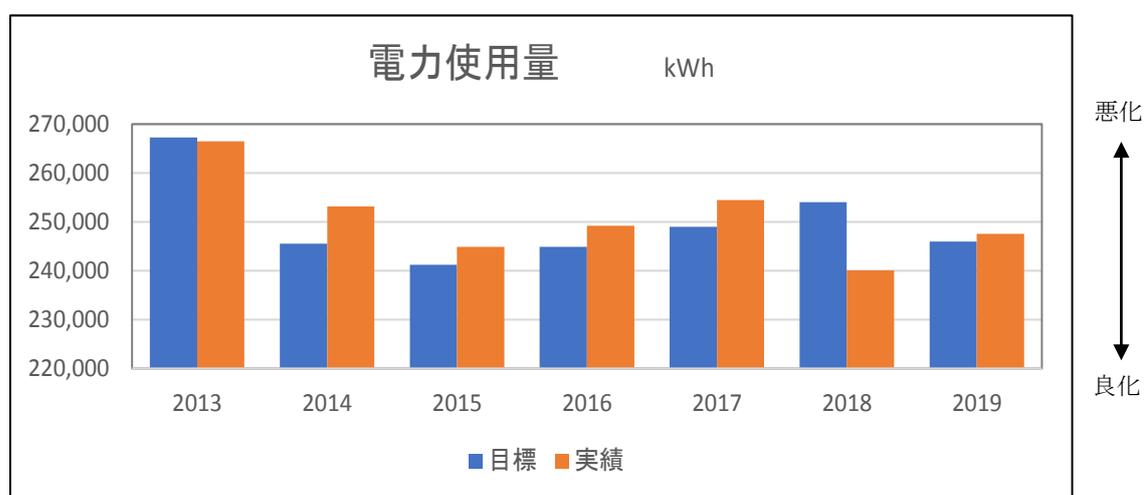
6. 2 重要項目の活動実績

1) (全社の) 電力使用量の実績

積雪が少ない冬であったが電力使用量は目標比0.6%アップと僅かに目標を超え「未達成」となりました。契約電力は低く抑えられ、電力使用料金は前年比△170千円となりました。

〈CO₂ 排出換算係数：0.5230〉

	目標	実績	前年度 実績	目標		前年	
				比	評価	比	評価
使用量 (KWh)	246,000	247,554	240,102	1,554	×	7,452	×
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	128,658	129,414	125,573	756	×	3,841	×



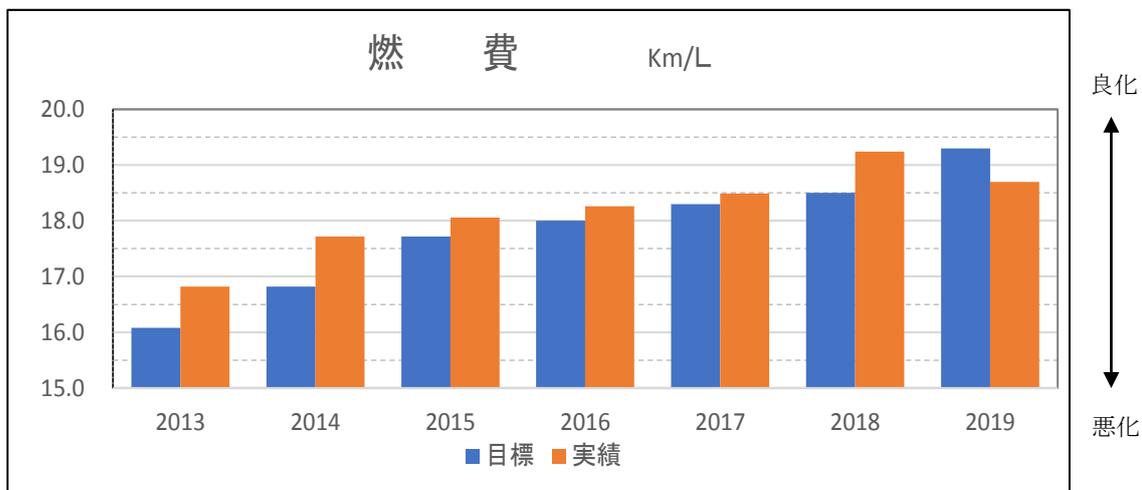
(2) ガソリン使用量の実績

営業地域の拡大に伴い、ガソリン使用量・総走行距離ともに増加となりました。

〈CO₂ 排出換算係数：2.3166〉

	目標	実績	前年度 実績	目標		前年	
				比	評価	比	評価
使用量 (L)	27,000	27,580	23,634	580	×	3,946	×
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	62,685	64,031	54,870	1,346	×	9,161	×
燃費 (km/L)	19.3	18.7	19.2	△0.6	×	△0.5	×

- ① 燃費：総走行距離 513,769 ÷ 代車除く使用量 27,490 = 18.7 km/L
- ② 総走行距離：513,769Km



6. 3 その他項目実績表

2018年度まで一般廃棄物が増加傾向にあったため、2019年度に朝礼及び社内グループウェア等で焼却・埋立ごみの排出削減の意識を高める呼びかけをした結果、2019年度の一般廃棄物排出量が減少しました。

その他項目	目標	実績	目標比
水道	770.0m ³	739.5m ³	-30.5m ³
一般廃棄物 (焼却/埋立)	2500.0kg	1588.0kg	-912.0kg
一般廃棄物 (循環資源)	2200.0kg	2052.2kg	-147.8kg
産業廃棄物	10.0kg	0.0kg	-10.0kg
都市ガス	7.0m ³	1.0m ³	-6.0m ³
灯油	800.0L	860.0L	60.0L
地域活動	7回	6回	-1回

6. 4 2020年度の取組内容

電力使用量・ガソリン使用量の削減（車両燃費の向上）を主要項目として二酸化炭素排出量の削減に継続して取り組んでまいります。

■主要項目（中長期目標）

単位：kg-CO₂

	実 績				目 標	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
電力排出量	116,876	119,358	112,608	129,414	128,553	128,449
ガソリン排出量	58,333	58,818	54,870	64,031	83,580	82,744
CO ₂ 排出換算係数	〈東北電力2008年度〉 CO ₂ 排出換算係数：0.4690			〈東北電力2019年度〉 CO ₂ 排出換算係数：0.5230		

■その他項目（2020年度目標）

主要項目		その他の項目			
項目	目標	項目	目標	項目	目標
電力使用量	245,800kWh	水道	770.0m ³	一般廃棄物 (焼却・埋立)	2,500kg
ガソリン使用量	36,000L	都市ガス	7m ³	一般廃棄物 (循環資源)	2,200kg
燃費	19.3km/L	灯油	800L	産業廃棄物	10.0kg
		軽油	200L	地域活動	6回

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び違反、訴訟の有無

2020年5月22日に環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反・訴訟等は、過去および現在に於いてありません。

また、関係当局からの違反等の指摘や指導、近隣からの苦情・指摘も過去10年間ありません。

【主な環境関連法規】

2020年4月1日現在

法律・条例・その他の規制	適用項目・関連施設
水質汚濁防止法	油（重油・軽油・灯油）を貯蔵する施設
悪臭防止法	悪臭発生の可能性のある作業（塗装工事等の社屋修繕工事）
下水道法	貯水槽、下水道利用の届け出
消防法	少量危険物貯蔵所、屋内消火栓設備、自動火災報知設備、他
廃棄物処理法	廃プラスチック類、廃情報機器他、水銀使用廃製品の適正排出 「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の届け出
グリーン購入法	環境負荷低減に有効な物品・役務
家電リサイクル法	特定廃家電（テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機）
省エネ法	CO ² 排出が一定量以上は特定事業所（当社は非該当）
秋田県温暖化対策条例	CO ² 排出が一定量以上は特定事業所（当社は非該当）
フロン排出抑制法	空調機器・エアコンの定期点検（1～3年1回）、簡易点検（3カ月に1回以上）の義務、点検整備記録簿保存 等

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

2020年6月26日

8. 1 環境経営システムの有効性の評価

当社は二酸化炭素排出量の約99%を占める「電力使用量削減」「ガソリン使用量削減（車両燃費向上）」の2つを主要項目として活動しています。

2019年度「電力使用量削減」については、サポート拠点開設に伴う使用量増加を踏まえ目標を2018年度実績の2.5%増しで設定しましたが、実績が目標比0.6%程増加して未達成となりました。契約電力は4月から翌年2月までは、積雪の少ない冬を象徴する値（前年度を下回る値）で推移しました。3月には平年値83kWに戻りましたが、電力使用料金は前年に比べ安価となりました。

2019年度「ガソリン使用量（燃費向上）」では、営業推進施策により営業地域が拡張され、ガソリン使用量は増加しました。使用量増加に比例し走行距離も伸びましたが、平均燃費は18.7km/Lに留まり目標19.3km/Lを下回り未達成となりました。

二酸化炭素排出量の変動はありますが、現在の「電力使用量の削減策」（18項目）、「ガソリン使用量の削減策」（4項目）の実施により、二酸化炭素排出量が削減された一定水準を維持できていますので、これらの二酸化炭素排出量の削減策は有効であると評価しています。

環境方針を遵守し環境活動を計画どおり取り組むよう従業員に周知、指示してまいります。

8. 2 環境経営システム変更の必要性

環境方針、環境目標など主要部分において環境経営システムの変更は必要ないと判断しました。次年度も、「電力使用量削減」「ガソリン使用量削減（燃費向上）」の2つの主要項目について継続して二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。

8. 3 次年度以降の取組の方向性

（1）電力使用量削減（重点事項）の目標及び活動計画の見直し

電力使用量のCO₂排出換算係数は、東北電力発表(0.5230調整後)に変更し、また、2018年度を基準年とし使用量目標及びCO₂排出目標を設定しました。新たに設定した目標を達成するため従業者に引き続き環境活動の遵守を周知し、適切な月別電力使用量を把握して分析し削減の余地を探りたいと考えています。

（2）環境活動の継続と定着、徹底を図る

社会貢献活動に関する社員の意識は、社屋周辺清掃などの環境活動を通じて高まり、居住地域においても清掃活動に参加する従業者が多くなりました。次年度以降も工夫をしながら環境活動の継続と従業者の意識向上を図ります。

（3）是正処置、予防処置の効果・結果確認をする

2019年の環境活動の結果を報告し、代表者による評価・見直しを実施しました。マネジメントレビューでは是正処置・予防措置となる不適合は発生していません。



®環境省

エコアクション21

認証番号 0006422

◆この環境活動レポートは、下記のホームページでご覧になれます。

□弊社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>)

□エコアクション21 中央事務局のホームページ (<http://www.ea21.jp/>)

◆なお、冊子をご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。

〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号

株式会社 フィデア情報総研 本社

経営企画部 品質管理室 (Email : info@fir.co.jp)

TEL 018-883-0206 FAX 018-883-0209

〒990-0043 山形市本町一丁目4番21号 荘銀ビル8F

株式会社 フィデア情報総研 山形支社総務部

TEL 023-626-9017 FAX 023-626-9038